

新型コロナワクチン接種スケジュール等について

■12 歳から 39 歳までの方の予約開始について

7 月 27 日（火）から（7 月 21 日にチラシを全戸配布し、周知を行う。）

※以降、対象年齢以上の市民は誰でも予約が可能となる。

■子ども（12 歳から 15 歳まで）の接種について

子どもの接種について、狛江市では、日本小児科学会や狛江市医師会の見解を踏まえ、以下のとおり整理した。

【対象】

12 歳から 15 歳まで（平成 18 年 4 月 2 日から平成 21 年 4 月 1 日生まれ）約 2,400 人

※12 歳については、誕生日を迎えてから接種対象となる。

【考え方】

（日本小児科学会の見解と市の対応）

①子どもへのワクチン接種は、先行する成人への接種状況を踏まえて慎重に実施されることが望ましい。

→12 歳から 39 歳までを一度期に予約受付開始することで、保護者の接種と子どもの接種を同時に考えられる機会ができる。

②接種にあたってはメリットとデメリットを本人と養育者が十分に理解していること、接種前・中・後におけるきめ細かな対応を行うことが前提であり、できれば個別接種が望ましい。やむを得ず集団接種を実施する際には、本人と養育者に対する個別の説明をしっかりと行う配慮が望まれる。

→12 歳から 15 歳がいるお宅に「12 歳から 15 歳の新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」（内容は狛江市医師会確認済み）を郵送する。接種時は保護者同伴とする。

③ワクチン接種を希望しない子どもと養育者に対しては、特別扱いされないような十分な配慮が必要と考える。

→個別接種、集団接種会場で複数の選択肢を設けることで、誰が接種したのかを判明し難くなる。

（狛江市医師会の見解）

- ・日本小児科学会の見解を踏まえ、小児科医による個別接種を基本とする。
- ・個別接種でカバーしきれない場合、集団接種を活用するが、本人への精神的ケアのためにも小児科医による問診を必須とする。
- ・市内小児科医としては、社会全体の感染を抑えるためにも、子どもを含めた接種を進めたほうが良いと考え、安全性についても特段問題はないと考えている。

【実施方法】

小児科医による個別接種をベースに実施するとともに、夏季休業期間中に子どもが安心して安全に接種できる体制として、小児科医による問診、ケアを確実に行えるよう、小児科医のみが予診を行う集団接種会場に専用枠を設定し、希望する子ども達への早期の接種を実施する。

(1) 個別接種

区分	クリニック	週当たりの接種人数 (子どものみ)	接種開始
誰でも予約可能	石戸谷小児科	120 人	7/30
	柏田内科クリニック	24 人	7/29
	コドモノいっぽクリニック	60 人	7/30
	佐藤診療所	48 人	8/2
	やまだ総合内科クリニック	12 人	8/10
	神保クリニック小児科	6 人	8/6

(2) 集団接種

集団接種会場は、7月31日（夜間）及び8月7日（夜間）の2枠を、防災センターに設定する（3週間後の2回目も同様）。加えて、予約状況に応じて7月31日（午後）も同様の専用枠として開放するなど、予約の需要に応じた柔軟な対応としていく。

(3) 8月7日（土）までの接種可能回数（1回目）※上限値

- ・個別：400 回程度
- ・集団：275 回×3回 =825 回
- ・合計：1,225 回 (2,400 人の約 51.0%)

【スケジュール】

- ・7月20日（火）「12歳から15歳の新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」を12歳から15歳の子どもがいる家庭へ個別送付
- ・7月21日（水）チラシを全戸配布（全年齢の予約開始、防災センター会場、子どもの接種等について）
- ・7月27日（火）12歳から39歳の予約開始
- ・7月29日（木）12歳から15歳の個別接種開始
- ・7月31日（土）12歳から15歳の集団接種開始